

令和2年度
学校評価(中間)

このアンケートは、令和元年度松波中学校学校評価目標におけるめざす姿をもとに、評価項目を設けた。

それぞれの質問について、個人としての評価ではなく、学校全体の取組としての評価を行った。また、生徒アンケート・保護者アンケートの結果についても参考とした。

なお、評価は、A(4+3:90%以上)、B(4+3:70%以上)、C(4+3:70%未満)とした。

令和2年10月
能登町立松波中学校

令和2年度 能登町立松波中学校 学校評価目標

本校の教育目標	新しい時代に必要な資質・能力を身につけた生徒の育成 ～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～			
めざす姿	1. 生徒像	2. 教師像	3. 学校像	キーワード
	(1) 一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む生徒	(1) 危機管理意識が高い教師	(1) 安心・安全な学校	(1) 「命」を大切にする
	(2) 疑問を持ち、考え抜く生徒	(2) 学びの変化に柔軟に対応できる教師	(2) 協働意識が高い学校	(2) 「学び」を自覚する
	(3) 多様な人々とともに、目標に向けて協力する生徒	(3) 豊かな人間性をもった教師	(3) 学びが自覚できる学校	(3) 「目標」を設定する

本年度努力事項	具体的な取り組み	判定指標
【子どもたちが安全・安心に学べる学校】 ①学校教育活動全体を通して、生徒自ら危険を察知・回避する力を育成する。 ②生徒の変化を敏感に把握し、いじめ等を見逃さない。 ③教職員の危機管理意識を磨き、実効性のある仕組みへと見直す。	◆行事や体験活動等の実施の際に、安全確保について生徒同士が話し合う機会を設定する。 ◆毎朝、対面で声かけを行い、個々の生徒の様子を把握する。 ◆適時的に訓練を実施し、危機管理マニュアルの理解と改善を行う。	[教職員アンケート] 1, 2, 3, 4, 12, 13 [生徒アンケート] 1, 2, 3, 12 [保護者アンケート] 1, 2, 3, 4, 5
【生徒の確かな学びを保障する学校】 ①主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善を推進する。 ②GIGAスクール事業を積極的に活用し、個別最適化された教育の実現に努める。 ③体験活動や総合的な学習の時間を活用して、教科横断的な学びを推進する。	◆生徒の様子、変容を視点とした、研究授業を実施する。 ◆導入前の研修の充実、導入後の積極的な授業改善に取り組む。 ◆体験活動等の計画に、教科との関連を明記する。	[教職員アンケート] 5, 6, 7, 11 [生徒アンケート] 4, 5, 6, 7, 8 [保護者アンケート] 6, 7, 8, 9, 10
【教師の研修意欲が高い学校】 ①ワークライフバランスを向上させ、子どもと向き合う時間の確保に努める。 ②人権感覚を高め、指導力を高める研修を推進する。 ③日常的に共通理解やコミュニケーションを図る職場づくりを進める。	◆日々の業務の効率化を推進し、遅くとも午後8時までに退校する。 ◆授業中、生徒を指名する時は姓に敬称をつける。(呼び捨てにしない) ◆報告・協議事項は事前に紙またはサーバー内で文書化し周知する。	[教職員アンケート] 8, 9, 10 [生徒アンケート] 8, 9, 10, 11 [保護者アンケート] 4, 5, 6
【地域社会の一員として信頼される学校】 ①学校公開や日々の教育活動についての情報発信を積極的に進める。 ②学校評価は焦点化した評価項目に絞り、改善の方向や方策を提示し公開する。 ③地域人材や施設を積極的に活用し、社会に開かれた教育課程の構築を進める。	◆月2回以上、学校HPを更新する。 ◆学校評価結果を学校HPで公開する。 ◆各学年2回以上、地域人材を活用した授業を実施する。	[教職員アンケート] 14, 15 [生徒アンケート] 13, 14, 15 [保護者アンケート] 11, 12

判定基準	A(4+3:90%以上) B(4+3:70%以上) C(4+3:70%未満)	各項目のC評価については、指導・改善を行う
------	--	-----------------------

令和2年度 能登町立松波中学校 学校評価 考察・改善

本年度努力事項	具体的な取り組み	判定指標
<p>【子どもたちが安心・安全に学べる学校】</p> <p>①学校教育活動全体を通して、生徒自ら危険を察知・回避する力を育成する。</p> <p>②生徒の変化を敏感に把握し、いじめ等を見逃さない。</p> <p>③教職員の危機管理意識を磨き、実効性のある仕組みへと見直す。</p>	<p>◆行事や体験活動等の実施の際に、安全確保について生徒同士が話し合う機会を設定する。</p> <p>◆毎朝、対面で声かけを行い、個々の生徒の様子を把握する。</p> <p>◆訓練実施後、危機管理マニュアルと比較し成果と課題を明確にする。</p>	<p>[教職員アンケート] 1, 2, 3, 4, 12, 13</p> <p>[生徒アンケート] 1, 2, 3, 12</p> <p>[保護者アンケート] 1, 2, 3, 4, 5</p>

教職員アンケート	判定	生徒アンケート	判定	保護者アンケート	判定
1. 目指す姿を達成するための教育活動を実践している。	A 100%	1. 学校が楽しいと思う。	A 94.9%	1. 学校へ行くのが楽しそう。	A 96.6%
2. 生徒自ら危険を察知・回避する力を育成している。	A 100%	2. 困っている友達がいたら声をかけたり助けたりしている。	B 88.1%	2. 学校は生徒の安全を守るために努力している。	A 93.0%
3. 生徒の小さな変化にも気付くよう意識している。	A 100%	3. 安全を意識した行動を心掛けている。	A 93.2%	3. 学校はいじめや問題行動の未然防止や早期発見に努めている。	B 87.7%
4. 危機管理意識をもって教育活動を行っている。	A 90%	12. 5定点を守るよう心掛けて生活している。	B 76.3%	4. 学校は何事に対しても早めに対応している。	B 86.0%
12. 各種アンケートをもとに、人間関係作りに取り組んでいる。	A 100%			5. 教職員は、子供の気持ちや内面を理解しようとしている。	A 91.2%
13. 生徒は自分の健康や安全に気を付けて行動している。	A 100%				

◎教職員は、学校教育活動全体を通して、「安心・安全に学べる学校」を目指して指導・育成を行っている。

◎生徒は、学校へ行くのが楽しいと感じている。また、安全を意識した行動を心掛けている。

◎保護者は、生徒が学校へ行くのが楽しそう、安全を守るための努力をしていると感じている。

◇新型コロナウイルス感染症による臨時休業で、ゲーム、SNS、インターネットの使用時間が増加し生活リズムを崩す原因となったと考えられる。今後、自己の健康を管理できる力の育成が求められる。5定点については、起床と就寝時刻にポイントを重点化していくことも必要である。

◇保護者に、「いじめや問題行動の未然防止、早期発見」、「何事にも早めに対応している」については、実践内容等をこまめに情報発信し、連携を深めていきたい。

判定基準	A(4+3:90%以上) B(4+3:70%以上) C(4+3:70%未満)	各項目のC評価については、指導・改善を行う
------	--	-----------------------

令和2年度 能登町立松波中学校 学校評価 考察・改善

本年度努力事項	具体的な取り組み	判定指標
<p>【生徒の確かな学びを保障する学校】</p> <p>①主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善を推進する。</p> <p>②GIGAスクール事業を積極的に活用し、個別最適化された教育の実現に努める。</p> <p>③体験活動や総合的な学習の時間を活用して、教科横断的な学びを推進する。</p>	<p>◆生徒の様子、変容を視点とした、研究授業を実施する。</p> <p>◆導入前の研修の充実、導入後の積極的な授業改善に取り組む。</p> <p>◆体験活動等の計画に、教科との関連を明記する。</p>	<p>[教職員アンケート] 5, 6, 7, 11</p> <p>[生徒アンケート] 4, 5, 6, 7, 8</p> <p>[保護者アンケート] 6, 7, 8, 9, 10</p>

教職員アンケート	判定	生徒アンケート	判定	保護者アンケート	判定
5. 各種学力調査の分析を授業改善に生かしている。	B 80.0%	4. 授業の内容はよくわかる。	B 83.1%	6. 本校の教職員は、授業が分かりやすいように工夫している。	A 92.6%
6. 個別最適化された学びの実現に向けた工夫をしている。	A 100%	5. ペア学習やグループ学習で、自分の考えを伝えたり、友達の考えを参考にできる。	A 93.2%	7. 毎日家庭学習をしている。	B 74.1%
7. 体験学習・総合的な学習の時間で、教科横断的な学びを関連付けている。	A 90.0%	6. 毎日学年に応じた家庭学習を行っている。	B 79.7%	8. 毎日決まった時刻に起床・就寝している。	B 86.2%
11. 生徒は、学校生活全体を通して元気にあいさつや返事をしている。	A 90.0%	7. 失敗しても粘り強く取り組もうとしている。	B 81.4%	9. ゲーム、インターネット、ライン等の使用についてルールを決めている。	B 75.9%
		8. 先生は頑張ったことに対して、ほめたり認めたりしている。	B 86.4%	10. 家庭で勉強や進路について話をする。	B 77.6%

◎教職員は、確かな学びを保障するために、各種調査結果の分析を授業改善に生かし、個別最適化された学びの実現に向けて工夫をしている。

◎生徒はペア・グループ学習が定着し、対話的な学びの場面などで互いの意見を生かし合うことができてきた。

◎2・3年生は、授業の内容はよくわかると答えている。

◎保護者は、教職員が授業が分かりやすいように工夫していると感じている。

◇2・3年生は、学年に応じた家庭学習を行っているが、1年生はできていない。また、全学年の保護者は、毎日の家庭学習に課題があると感じている。今年度、主体的な家庭学習課題に取り組んだところである。課題内容に必要感や短期的達成目標を持たせるなど、工夫が必要である。

◇学年が上がるにしたがって、ゲーム、インターネット使用のルールを決めている割合が低くなっている。ゲーム、ネット等の使用が不規則であれば、家庭学習を行う時間が無くなり、就寝・起床のリズムも崩れてくる悪循環となる。生徒の自己管理能力育成と家庭への啓発を継続していきたい。

◇失敗しても粘り強く取り組む資質・能力を育成することで、確かな学びにつなげていきたい。

◇今年度から行っている、キャリアパスポートを家庭との連携面で活用したり、進路関係の情報を1・2年の段階から発信することで、家庭での会話につなげたい。

判定基準	A(4+3:90%以上) B(4+3:70%以上) C(4+3:70%未満)	各項目のC評価については、指導・改善を行う
------	--	-----------------------

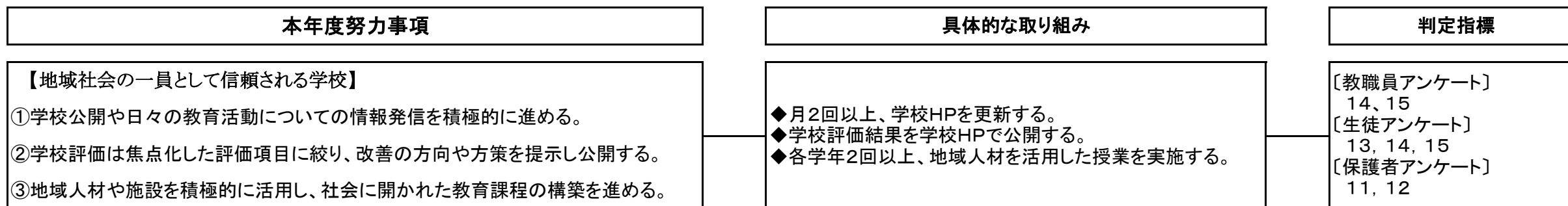
令和2年度 能登町立松波中学校 学校評価 考察・改善

本年度努力事項	具体的な取り組み	判定指標
<p>【教師の研修意欲が高い学校】</p> <p>①ワークライフバランスを向上させ、子どもと向き合う時間の確保に努める。</p> <p>②人権感覚を高め、指導力を高める研修を推進する。</p> <p>③日常的に共通理解やコミュニケーションを図る職場づくりを進める。</p>	<p>◆日々の業務の効率化を推進し、遅くとも午後8時までに退校する。</p> <p>◆授業中、生徒を指名する時は姓に敬称をつける。(呼び捨てにしない)</p> <p>◆伝達事項は紙またはサーバー内で文書化し、事前に周知する。</p>	<p>[教職員アンケート] 8, 9, 10</p> <p>[生徒アンケート] 8, 9, 10, 11</p> <p>[保護者アンケート] 4, 5, 6</p>

教職員アンケート	判定	生徒アンケート	判定	保護者アンケート	判定
8. 校内研修は指導法改善に役立っている。	A 100%	8. 先生は、頑張ったことに対して、ほめたり認めてくれる。	B 86.4%	4. 学校は、何事に対しても早めに対応している。	B 86.0%
9. 業務の効率化を推進し、遅くとも午後8時までに退校している。	A 100%	9. 先生は、丁寧に教えてくれる。	A 93.2%	5. 教職員は、子どもたちの気持ちや内面を理解しようとしている。	A 91.2%
10. 報告・協議事項は、事前に周知されている。	A 100%	10. 自分には良いところがある。	B 71.2%	6. 本校の教職員は、授業が分かりやすいように工夫している。	A 92.6%
		11. 学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある。	A 94.9%		
<p>◎教職員は、定期的にこうした研修を通じて指導法改善に取り組んでいる。また、午後8時までの退校を心掛けワークライフバランスを保つことで、生徒と向き合う時間の確保に努めている。</p> <p>◎教職員が生徒と向き合う時間を確保し、人権意識を高めることにより、「先生はほめたり、認めてくれる」「丁寧に教えてくれる」と感じる生徒の増加につながっている。</p> <p>◎保護者は、「内面を理解しようとしている」「授業の工夫を行っている」と感じている。</p> <p>◇各種アンケートや調査から生徒理解に努め、個々の傾向や課題を把握し、個に応じた自己肯定感を高める手立てを行っていく必要がある。また、集団での達成感や体験学習を通して、自己有用感を高める工夫も必要である。</p>					

判定基準	A(4+3:90%以上) B(4+3:70%以上) C(4+3:70%未満)	各項目のC評価については、指導・改善を行う
------	--	-----------------------

令和元年度 能登町立松波中学校 学校評価 考察・改善



教職員アンケート	判定	生徒アンケート	判定	保護者アンケート	判定
14. 授業に、地域の教材・人材を年2回以上計画的に取り入れている。(予定である)	A 90%	13. 学校や家庭・地域で元気な挨拶や返事ができる。	A 91.5%	11. 本校の教職員は、保護者との連絡を密にしている。	B 80.7%
15. 地域・保護者へ、積極的に情報発信を行っている。	A 100%	14. 地域の行事等に参加している。	C 62.7%	12. 学校からの各種便りの発行や、ホームページの更新などは十分である。	A 93.1%
		15. 地域の人(施設)や自然から学べたことがある。	B 86.4%		

◎今年度は、感染症防止の観点から制限はあるが、海洋教育を通して、地域の教材・人材を生かした体験学習を積極的に行っている。

◎生徒は、体験学習を通じて、地域の人や施設、自然から学べることを実感している。

◎保護者は、学校からの発信におおむね満足している。

◇新型コロナウイルスによる地域行事の中止が相次ぎ、参加する場面が減っている。今後、地域の方との関わりを行事で括るのではなく、幅広い観点から評価していきたい。

◇「連絡を密にしている」の項目では、1年生保護者の評価が低かった。学校や、学年団からのこまめな電話連絡や訪問はあったが、入学してすぐの臨時休業で、学校の流れや様子がわからず不安な側面があったと考えられる。

判定基準	A(4+3:90%以上) B(4+3:70%以上) C(4+3:70%未満)	各項目のC評価については、指導・改善を行う
------	--	-----------------------